

超電導素子で量子ビット安定観測可能性。

量子計算機基礎＝重畠状態は非保存物理量、観測熱入力不可避で量子ビット一貫性破壊、

<http://www.777true.net/Quantum-Computer-is-impossible-by-Bad-Quantum-Number.pdf>

<http://www.777true.net/Schroedinger's-Cat-the-Quantum-Theory-Cleaned-Up.pdf>

だが巨視的量子状態(超電導)なれば相対的に熱攪乱微小化、困難克服可能。

ジョセフソン素子電流位相は巨視的”1”, ”0”重畠量子ビット状態を等確率実現、

* かつて欧米で研究放棄された液晶実用化の**日本人研究者超精密性**は世界稀有！！！、

量子ビットでも最先端です。だが最終目的の万単位ビット整列、

$0.99999^{10000}=0.9\dots\dots$ デジタルにならない？！

2026/1/11.

付録 1: 巨視クーパー対スピン整列交流電流形成。

[1]: 極低温断熱ポテンシャル底での巨視クーパー対スピン整列電流形成

(1) 電子電子間の磁力 spin 結合力<クーパー対>は同種電荷反発よりも強くなる状態で実現。

http://www.777true.net/SIN-SPIN-BONDING-interaction-is-stronger-than-that-of-same-charge-in-10%5E-7m_PART-1.pdf

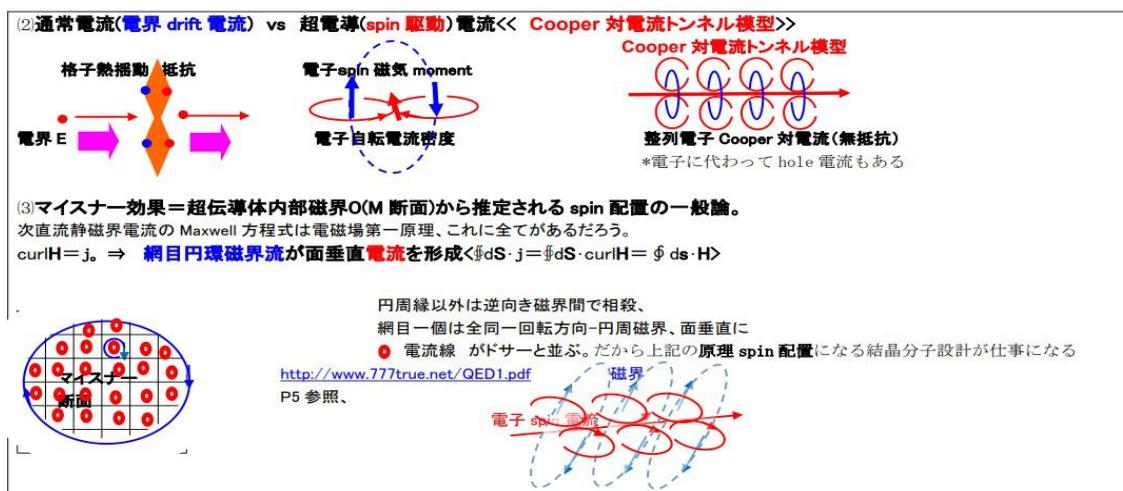
(2) 高温超伝導材料構造の格子振動は高温でもクーパー対巨視整列を壊さない。

<http://www.777true.net/Super-Conductivity-the-Critical-Temperatur-&-Cooper-Current-Dipole-model.pdf>

(3) 巨視整列 = 自動的に巨視電流化、だから円環にすれば永久直流電流、

整列電子スピン電流合成で、電気抵抗起源の空間移動流でない！！

巨視整列が電子群最小エネルギー化安定状態として出来る。



<http://www.777true.net/Super-Conductivity-the-Meissner-Zero-Magnetism-with-the-uniform-Current-Density.pdf>

[2]: 量子ビットの制御方法

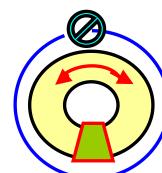
(4) LC 回路類似発振電流：

外部磁場励起で電流始動、円環一部 = 絶縁体容量に電位差

が出来ると電流停止力 ⇒ 流れ停止電荷集積

⇒ 逆起電力発生で超高周波発振開始<単位量子ビット化の起源>

* 誘電損失があるから減衰振動、隨時外部励起入力、



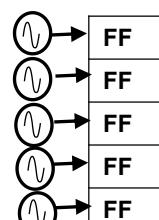
(5) 発振電流位相の”1”，”0”二値性 =

{右回転、左回転}で周囲巨視磁場反映で読み取り可能化、

☞ 2個の異なる固有状態の重畳とは言えるだろう。

(6) だが回路対称で等確率 bit が出来るので計算に供給できる。

(7) Flip Flop ビット列を固定周波数ランダム位相発振回路で toggle に等価



量子アニーリング

<https://www-adsys.sys.i.kyoto-u.ac.jp/mohzeki/QA.pdf>

東工大西森秀穎教授の原理開発(1998)で実用計算機がカナダから発売されてます。

固いデジタルでなく、アナログ的揺らぎ採用で、、、筆者今は詳細不明。